※入札公告を必ず確認してください。（海老名市ホームページに掲載しています）

入札案件概要書（工事）

契約番号：8173

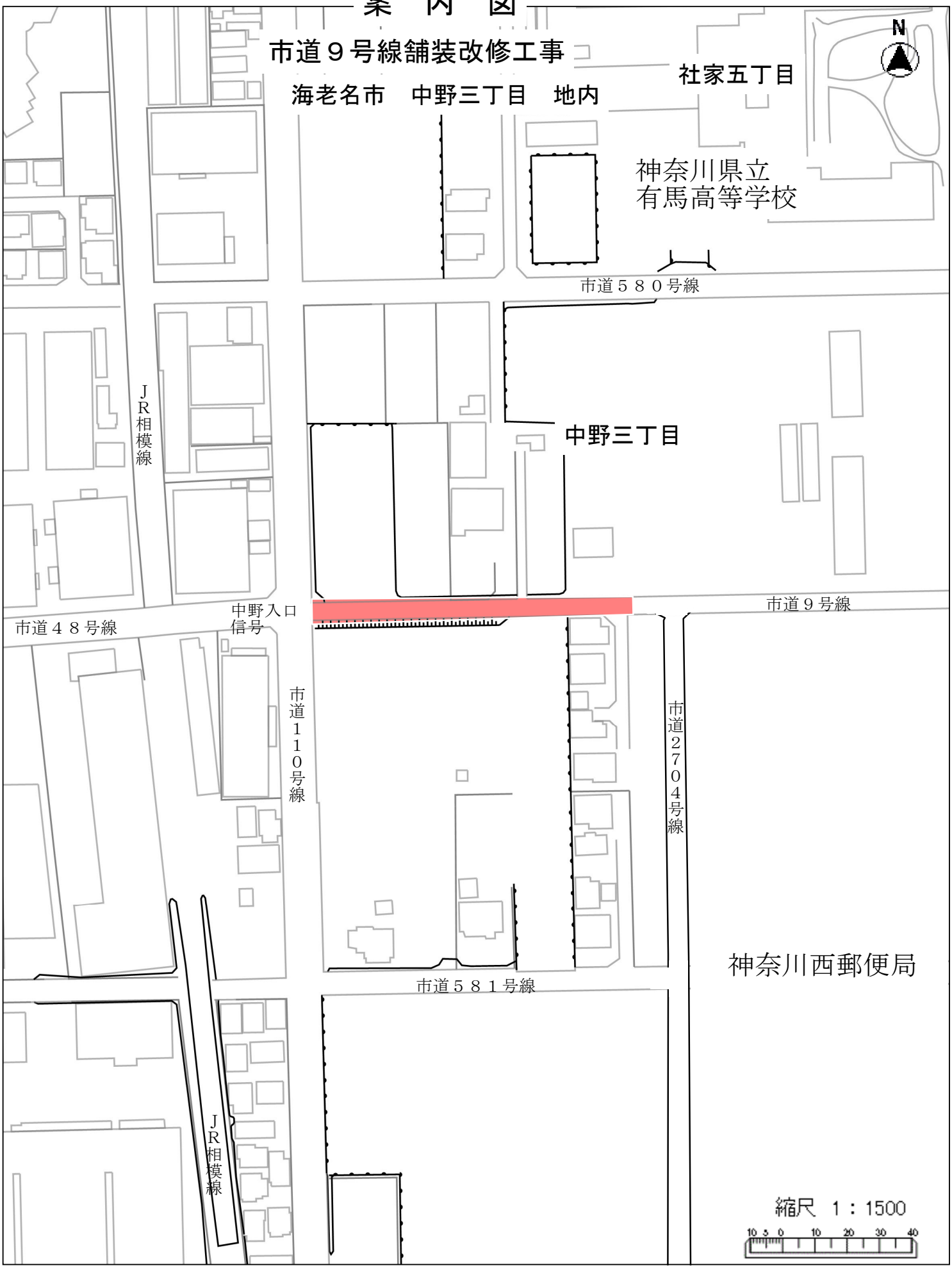
件　名	市道９号線舗装改修工事	
履行場所	海老名市　中野三丁目　地内	
工　期	令和８年 12 月 22 日～令和９年２月 26 日（67 日）	
工事の内容等	別紙　仕様書等　のとおり ○週休2日制確保工事（現場閉所）の対象案件	
予定価格	7,997,000 円（税込）	7,270,000 円（税抜）
最低制限価格	有り（事前算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	130　ほ装 経審　－　点以上　－　点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が５千万円（建築一式工事の場合は８千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第　1　区分	第１・第２区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。　※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり　（第１区分及び第２区分の同日開札の工事で、基本数１件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 （2）（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3）（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。システムへはPDF化して添付してください。	
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をＦＡＸで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類	

案　内　図

市道９号線舗装改修工事

海老名市　中野三丁目　地内



工　事　説　明　書

（特 記 仕 様 書）

工事件名　市道９号線舗装改修工事
工事場所　海老名市　中野三丁目　地内
市道名称　海老名市道９号線

１．目　的

○既存舗装の劣化を改修し、安全な交通網の確保と適切な維持管理を行うため。

２．仕　様（施工監理）

○本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき施工すること。

・As 舗装（施工面積　652 ㎡）
　コア抜き　　3 個
　※コア抜きについては、立会いのもと行うこと。
　密度測定　　3 個(1,000 ㎡未満 3 個 別途 1,000 ㎡毎に 1 個追加)

・路　　盤（施工面積　652 ㎡）
　プルフローリング　該当（300 ㎡以上実施）
　密度測定　　1 個（1,000 ㎡に 1 個）

○原則として、アスベストを原料としていない建材を用いて施工すること。
　又、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提出させ、監督職員の確認を得ること。

○上記に無き内容については、監督員と協議する。又、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

３．工程管理

○工期について
　契約工期　令和８年 12 月 22 日～令和９年２月 26 日

○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。修正

４．安全対策

○工事区域の安全対策を充分に施し、道路管理者・道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。

○特に作業を行わない時は、第三者の通行に対する、安全対策(保安灯、舗装摺付け・注意看板等により)を行うこと。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

○風雨が強い場合、工事現場の見周りを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。

５．仮設備関係

○仮設備(現場事務所等)の建設は、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。

○工事用電力・用水等は、請負業者の負担とする。

６．道路関係

○一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。

○一般道路を使用する時は、関係法令を遵守し、道路管理者・交通管理者等の許可を得ること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

７．建設副産物関係

○As 殻、Co 殻、路盤材の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

８．海老名環境マネジメントシステム関係

○周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑えること。

○低騒音・低振動型作業機械を使用すること。なお、写真管理をすること。

○排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用すること。なお、写真管理をすること。

○周辺住民の生活を妨げない作業時間帯を設定すること。
○工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしないこと。

9．法定外の労災保険の加入

○本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入しなければならない。
○受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

10．その他工事全般

○事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により、施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
○取壊し直近の構造物(ブロック塀等)は施工前に状態を確認し、必要があれば、地権者(所有者等)に立会いを求め、記録し監督員に報告をすること。
○騒音・振動及び粉塵等工事沿線住民に対し、不利益になりうることは、工事期間及び時間等充分配慮し、施工にあたること。
○施工範囲については、着工前に監督員の確認を行うこと。
また、道路縦断、横断勾配は、既設排水構造物等に合わせることを基本とするが、着工前に調査し、監督員に確認を行い施工すること。
○舗装面積等の確認を行い、舗装施工前に監督員へ報告すること。
○施工工程についても 5cm 以上の段差を生じさせないこと
○舗装摺付けについては、道路縦横断方向及びマンホール周りは As 合材により施工を行うこと。横断方向及びマンホール周り、取り付け道路は、5%以下の勾配になるよう施工しその他は、10%以下の勾配にすること。
○マンホール蓋の高さについては、舗装施工前に調査し監督員へ報告すること。調整を要する場合は、施工前に協議を行うこと。
○埋設物（水道等）の位置を事前に確認し、適切に処置を図ること。
○工事施工方法については、交通管理者の許可条件に基づき計画すること。
○舗装版の取り壊し量（施工範囲）については、舗装の日当たり施工量を考慮し計画すること。
○地権者及び沿線住民と店舗・工場・物流倉庫等と事前に工程等十分に調整し、トラブルのない様に努めること。
○乳剤の散布時には飛散防止の養生を確実に行うこと。
○消防施設とゴミ停が工事区間内にある場合は、関係部局へ届け出る

こと。

○関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。

○工事区域外の路面についても、工事車両による乳剤等による汚損が無いように対策を行い、万が一汚損が生じた場合は、誠意をもって対応すること。

○アスファルト混合物施工前に基層または路盤の状況を確認し、事前に監督員と協議し、確認を得ること。

舗装版切断時に発生する濁水処理に係る特記仕様書

（趣 旨）

第 1 条　この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

（適 用）

第 2 条　海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

（処理方法）

第 3 条　舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

（条 件）

第 4 条　受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

（提出書類等）

第 5 条　受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2　受注者は、産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない

（その他）

第 6 条　この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

施工条件明示書（土木工事共通）

１　工事概要

発 注 者	海 老 名 市	
工事件名	**市道9号線舗装改修工事**	
工事場所	海老名市中野三丁目地内	
工事目的	本工事は、既存舗装の劣化を改修し、安全な交通網の確保と適切な維持管理を行うものです。	
工事概要	工事延長 L=101m　W=5.3～8.5m 取壊し工　1式　　仮 設 工　1式 土　　工　1式 舗 装 工　1式 付 帯 工　1式	
契約工期	令和8年12月22日　から　　令和9年2月26日　まで	
事業区分	□　補助金事業	□　国庫
		□　県費
	■　市単独事業	
設計区分	□　単独積算	
	□　合算積算	工事
		工事

２　積算諸条件

主たる工種　：舗装工事
施工地域・工事場所区分　：一般交通等の影響あり(2)
契約保証の方法　：発注者が金銭的保証を必要とする
施工パッケージの使用（一部使用含む）　■ 有　□ 無
週休二日制確保工事　：現場閉所による週休2日制確保工事

【使用歩掛及び単価等】

■ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	8 年	7 月
■ 諸経費率	適用年版：令和	8 年	7 月
□ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
■ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	8 年	10 月
□ 刊行物	適用年版：令和	年	月
□ 特別調査	適用年版：令和	年	月
□ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	年度	
□ その他（　　）	適用年版：令和	年	月

３　施工条件

【１】 工程関係	１	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	■ 無（他工事件名等） □ 有 （工期、内容等）
	２	当工事における施工時期の制約について	■ 無（制約を受ける施工内容等） □ 有 （施工時期等）
	３	施工時間について	■ 昼間施工 （その他特記事項） □ 夜間施工（一部含む）
	４	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	■ 無（関係機関名） □ 有
	５	工事着手前に地上物件（家屋調査）、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	■ 無（対象内容） □ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	６	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	□ 無（詳細内容、作業不能日数等） ■ 有 年末年始６日
【２】 用地関係	１	工事用地等の未処理部分について（用地買収状況について）	■ 無（用地未取得部分等） □ 有 （取得予定年月日等）
	２	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	■ 無（使用場所、期間、借用条件、復旧方法等） □ 有
	３	使用後の復旧条件	■ 無（復旧内容等） □ 有
【３】 公害関係	１	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	■ 無（建設機械と制限内容） 騒音規制法・振動規制法 □ 有 （作業時間と制限内容）
	２	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	■ 無（対策内容） □ 有

【４】 安全対策関係	１	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	■ 無（指定内容） □ 有
	２	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	□ 無（対象内容） ■ 有 □鉄道 □ガス □電気 □電話 ■上水道 □下水道 □その他（ ）
	３	交通誘導警備員の配置について	□ 無（１）交通誘導員の配置 工事内容に応じて交通誘導警備員を配置 ■ 有 （２）配置期間 現場実施期間中
【５】 工事用道路関係	１	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	■ 無（搬入経路・使用期間等の制限） □ 有 （搬入中・後の処置）
	２	仮設道路を設置する場合の制約について	■ 無（仮設道路に関する安全施設） □ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【６】 建設副産物関係	１	建設発生土が発生する場合について	■ 無（建設発生土の処分先） □ 有
	２	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	□ 無（対象内容） □コンクリート塊 ■アスファルト・コンクリート塊 ■ 有 □建設発生木材 □建設発生木材（伐木・除根材） ■建設汚泥 □建設混合廃棄物 □金属くず ■その他（路盤材） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
	※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。		
【７】 工事支障物件	１	工事支障物件について（地下埋設物含む）	□ 無（対象内容） □電柱 ■上水道 □下水道 □電話 □ガス管 ■ 有 □架空電線 □標識・看板 ■その他（ 支線 ）
【８】 薬液注入関係	１	薬液注入について	■ 無（対象内容） 工法区分： 使用材料： □ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：

【９】 その他	１	工事現場発生品がある場合について	■ 無 □ 有	（品名、数量等）
	２	支給材料及び貸与品がある場合について	■ 無 □ 有	（品名、数量等）
	３	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	■ 無 □ 有	（品名、数量、搬入制限等）
	４	発生売却品評価額（スクラップ等）を計上している場合について	■ 無 □ 有	（品名等）
	５	週休２日制確保工事試行要領を適用している場合は、その内容	■ □ □	現場閉所による週休２日制確保工事 交替による週休２日制確保工事 対象外
	６	設計条件について	① 歩行者、車両の通行に支障のないように作業計画を立て周辺地域に配慮すること。 ② 権者及び沿線住民と店舗・工場・物流倉庫等への工事の周知を行い、トラブルのないように努めること ③ 構造物・境界杭については、適切な管理を行い、トラブルのないように努めること。 ④ 工事箇所は、住宅・工業地内であるため、施工時間等調整すること。また、安全管理に留意すること。 ⑤ 工事施工中の路上駐車については十分注意すること。 ⑥ 道路縦断・横断または、人孔（空気弁、バタフライ弁、集水桝等）の高さを測量し、高さ調整が必要となる場合は、事前に市担当に報告すること。 なお、調整の時間を考慮し、工程管理を行うこと。	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

単価抜き

令　和　8　年　度

市　道　9　号　線　舗　装　改　修　工　事　設　計　書

番　　号	R6以降、8-7，単価8-10	施　工　年　度	令和8年度
名　　称	市道９号線舗装改修工事		
場　　所	海老名市　中野三丁目　地内		

施　工　主	海老名市
設 計 区 分	
路　線　名	市道９号線
期　　間	令和 8年 12月 22日 ～ 令和 9年 2月 26日
日　　数	67 日
部　課　名	まちづくり部道路管理課
積 算 担 当	維持補修係
合　計　額	
価　　格	
消費税相当額	

概要

工事延長　L=101m、幅員W=5.3～8.5m

取壊し工　一式

土　　工　一式

舗 装 工　一式（As舗装工・上層路盤工A=652㎡
下層層路盤工A=15㎡）

付 帯 工　一式

区画線　　一式

仮設工　　一式

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
費	舗装工事							場所区分:一般交通影響有り（２）
		取壊し工		式	1			A-　1号内訳書
		土工		式	1			A-　2号内訳書
		舗装工		式	1			A-　3号内訳書
		付帯工		式	1			A-　4号内訳書
		区画線工		式	1			A-　5号内訳書
		仮設工		式	1			A-　6号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

間　接　費　明　細　書

設計条件					
工　　種	舗装工事	工事日数(内冬日数	67日/67日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り（２）	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算出基礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数３位四捨五入２位止めとする。

共通仮設費 ＝ 対象額×率
＝　×　％
＝

対象額 ＝ 直接工事費＋支給品費＋事業損失防止施設費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額＋準備費処分費－処分除外費
＝　＋　＋　－　－　＋　－
＝

率　＝ 対象額による率×地域補正係数
＝　％×
＝　％×　→　∴　％

対象額による率 ＝　％

現場管理費 ＝ 対象額×率
＝　×　％
＝

対象額 ＝ 直接工事費＋共通仮設費＋支給品費＋支給品費(現)－現場管理費対象外額－支給現場費対象外額－処分除外費
＝　＋　＋　＋　－　－　－
＝

率　＝ 対象額による率×地域補正係数
＝　％×
＝　％×　→　∴　％

対象額による率 ＝　％

間　接　費　明　細　書

算　　出　　基　　礎

一　般　管　理　費　＝　対象額×率＋対象額×契約保証補正値－調整額
＝　　×　％＋　　×　％－
＝

対象額　＝　工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
＝　　－　　－　　＋
＝

率　　＝　対象額による率×前払補正
＝　　％×
＝　　％×　　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

A-　1号　　1式当たり　　内訳書

取壊し工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	舗装厚さ5cm	m	5			C-　1号単価表
舗装版切断	舗装厚20cm	m	8			C-　2号単価表
舗装版切断濁水処理工	北部地区、舗装厚さ5cm	式	1			C-　3号単価表
舗装版切断濁水処理工	北部地区、舗装厚さ20cm	式	1			C-　4号単価表
舗装版破砕	舗装厚さ5cm	㎡	590			C-　5号単価表
舗装版破砕	舗装厚さ20cm	㎡	15			C-　6号単価表
殻運搬		㎥	32			C-　7号単価表
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	㎥	32			
計						

A-　2号　　1式当たり　　内訳書

土工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削		m^3	63			C-　8号単価表
土砂等運搬		m^3	63			C-　9号単価表
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層・下層)	m^3	63			
計						

A-　3号　　1式当たり　　内訳書

舗装工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）		㎡	652			C-　10号単価表
上層路盤（車道・路肩部）		㎡	652			C-　11号単価表
不陸整正		㎡	15			C-　12号単価表
計						

A-　4号　　1式当たり　　内訳書

付帯工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
視線誘導標設置工（土中建込用)撤去	両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ	本	4			C-　13号単価表
視線誘導標設置工（土中建込用)設置	両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ	本	4			C-　14号単価表
車線分離標設置工（穿孔式）	可変式 本体(柱)φ80 高さ800㎜	本	2			C-　15号単価表
計						

A-　5号　　1式当たり　　内訳書

区画線工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 15cm 制約無	m	308			C- 16号単価表
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	88			C- 17号単価表
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 30cm 制約無	m	7			C- 18号単価表
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	2			C- 19号単価表
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 45cm 制約無	m	59			C- 20号単価表
区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無	実線 45cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間	m	17			C- 21号単価表
計						

A-　6号　　1式当たり　　内訳書

仮設工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
段差擦付工		㎡	18			C-　22号単価表
交通誘導警備員Ｂ		現場	1			C-　26号単価表
計						

C-　1号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

舗装厚さ5cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下	m	1			施工P-01
計						

C-　1号単価表(施工P-01)　　積算単位:m　　標準単価:

舗装版切断

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			14.40			
K1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型) 湿式･ｴﾝｼﾞﾝ駆動	供/日	9.80			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			58.90			
R1	特殊作業員	人	20.20			
R2	土木一般世話役	人	10.89			
R3	普通作業員	人	9.00			
R4						
R5						
材料Z			26.70			
Z1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)／径18ｲﾝﾁ	枚	22.47			
Z2	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	2.88			
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{9.80}{100} \times \frac{14.40}{9.80} \right) \times \frac{58.90}{20.20+10.89+9.00} + \left(\frac{20.20}{100} \times \frac{10.89}{100} \times \frac{9.00}{100} \right) \times \frac{26.70}{22.47+2.88} + \left(\frac{22.47}{100} \times \frac{2.88}{100} \right) + \frac{100-14.40-58.90-26.70}{100} \right\} =$$

C-　2号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

舗装厚20cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cmを超え30cm以下	m	1			施工P-01
計						

C-　2号単価表(施工P-01)　　積算単位:m　　標準単価:

舗装版切断

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cmを超え30cm以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			11.60			
K1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型) 湿式･ｴﾝｼﾞﾝ駆動	供/日	7.89			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			44.57			
R1	特殊作業員	人	15.26			
R2	土木一般世話役	人	8.25			
R3	普通作業員	人	6.82			
R4						
R5						
材料Z			43.83			
Z1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)／径30ｲﾝﾁ	枚	19.33			
Z2	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)／径22ｲﾝﾁ	枚	13.31			
Z3	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)／径14ｲﾝﾁ	枚	8.12			
Z4	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	2.09			
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{7.89}{100} \times \frac{11.60}{7.89} \right) + \left(\frac{15.26}{100} \times \frac{44.57}{15.26+8.25+6.82} + \frac{8.25}{100} \times \frac{44.57}{15.26+8.25+6.82} + \frac{6.82}{100} \times \frac{44.57}{15.26+8.25+6.82} \right) \times \frac{43.83}{19.33+13.31+8.12+2.09} + \left(\frac{19.33}{100} \times \frac{43.83}{19.33+13.31+8.12+2.09} + \frac{13.31}{100} \times \frac{43.83}{19.33+13.31+8.12+2.09} + \frac{8.12}{100} \times \frac{43.83}{19.33+13.31+8.12+2.09} + \frac{2.09}{100} \times \frac{43.83}{19.33+13.31+8.12+2.09} \right) + \frac{100-11.60-44.57-43.83}{100} \right\} =$$

C-　3号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工

北部地区、舗装厚さ5cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.006			
計						

C-　4号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工

北部地区、舗装厚さ20cm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断濁水運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ	回	1			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.037			
計						

C-　5号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

舗装厚さ5cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要	㎡	1			施工P-01
	舗装版厚:15cm以下					
計						

C-　5号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

舗装版破砕

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:不要、舗装版厚:15cm以下

	名　称　／　規　格	単位	構成比	単価(東京)	単　価	摘　要
機械K			12.28			
K１	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ､後超小旋回・超低騒音)賃料／山積0.45m3 (平積0.35m3)	日	12.28			
K２						
K３						
K４						
K５						
労務R			81.66			
R１	土木一般世話役	人	29.51			
R２	運転手(特殊)	人	27.76			
R３	普通作業員	人	24.39			
R４						
R５						
材料Z			6.06			
Z１	軽　油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	6.06			
Z２						
Z３						
Z４						
Z５						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{12.28}{100} \times \frac{12.28}{12.28} \right) + \left(\frac{29.51}{100} \times \frac{81.66}{29.51+27.76+24.39} + \frac{27.76}{100} \times \frac{81.66}{29.51+27.76+24.39} + \frac{24.39}{100} \times \frac{81.66}{29.51+27.76+24.39} \right) + \left(\frac{6.06}{100} \times \frac{6.06}{6.06} \right) + \frac{100-12.28-81.66-6.06}{100} \right\} =$$

C-　6号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

舗装厚さ20cm

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要	㎡	1			施工P-01
	舗装版厚:15cmを超え40cm以下					
計						

C-　6号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

舗装版破砕

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:不要、舗装版厚:15cmを超え40cm以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			19.97			
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ､後超小旋回・超低騒音)賃料／山積0.45m3 (平積0.35m3)	日	11.13			
K2	油圧ﾌﾞﾚｰｶ賃料／ﾊﾞｹｯﾄ容量0.4㎥対応,ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄのみ	日	8.26			
K3						
K4						
K5						
労務R			73.88			
R1	運転手(特殊)	人	30.47			
R2	普通作業員	人	26.77			
R3	土木一般世話役	人	14.49			
R4						
R5						
材料Z			6.15			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	5.98			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{11.13}{100} \times \text{----------} + \frac{8.26}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{19.97}{11.13+8.26} \right.$$

$$+ \left(\frac{30.47}{100} \times \text{----------} + \frac{26.77}{100} \times \text{----------} + \frac{14.49}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{73.88}{30.47+26.77+14.49}$$

$$+ \left(\frac{5.98}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{6.15}{5.98}$$

$$\left. + \frac{100-19.97-73.88-6.15}{100} \right\} =$$

C-　7号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り	㎥	1			施工P-01
	運搬距離:10.5km以下					
計						

C-　7号単価表(施工P-01)　　積算単位:m^3　　標準単価:

殻運搬

殻発生作業:舗装版破砕、積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下)、DID区間の有無:有り、運搬距離:10.5km以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			42.27			
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	供/日	42.27			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			41.18			
R1	運転手(一般)	人	41.18			
R2						
R3						
R4						
R5						
材料Z			16.55			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	16.55			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{42.27}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{42.27}{42.27} + \left(\frac{41.18}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{41.18}{41.18} + \left(\frac{16.55}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{16.55}{16.55} + \frac{100-42.27-41.18-16.55}{100} \right\} =$$

C-　8号　　1㎥当たり　　単価表

掘削

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削	土質:土砂 施工方法:ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土の有無:無し	㎥	1			施工P-01
	障害の有無:無し 施工数量:5,000m3未満					
計						

C-　8号単価表(施工P-01)　　積算単位:m^3　　標準単価:

掘削

土質:土砂、施工方法:ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ、押土の有無:無し、障害の有無:無し、施工数量:5,000m3未満

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			44.63			
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 超低騒 排対型(2014年規制)	供/日	44.63			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			35.43			
R1	運転手(特殊)	人	35.43			
R2						
R3						
R4						
R5						
材料Z			19.94			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	19.94			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{44.63}{100} \times \frac{44.63}{44.63} \right) + \left(\frac{35.43}{100} \times \frac{35.43}{35.43} \right) + \left(\frac{19.94}{100} \times \frac{19.94}{19.94} \right) + \frac{100-44.63-35.43-19.94}{100} \right\} =$$

C-　9号　　1㎥当たり　　単価表

土砂等運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ　ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	㎥	1			施工P-01
	DID区間の有無:有り 運搬距離:11.0km以下					
計						

C-　9号単価表(施工P-01)　　積算単位:m^3　　標準単価:

土砂等運搬

土砂等発生現場:標準、積込機種・規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ　ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3、土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間の有無:有り、運搬距離:11.0km以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			42.89			
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	供/日	42.89			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			41.78			
R1	運転手(一般)	人	41.78			
R2						
R3						
R4						
R5						
材料Z			15.33			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	15.33			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{42.89}{100} \times \frac{42.89}{42.89} \right) + \left(\frac{41.78}{100} \times \frac{41.78}{41.78} \right) + \left(\frac{15.33}{100} \times \frac{15.33}{15.33} \right) + \frac{100-42.89-41.78-15.33}{100} \right\} =$$

C- 10号　　1㎡当たり　　単価表

表層（車道・路肩部）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	㎡	1			施工P-01
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

C- 10号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

表層 (車道・路肩部)　　入力数量: 50mm

平均幅員:3.0m超、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)、瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			1.32			
K1	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ賃料／ﾎｲｰﾙ型、舗装幅2.3～6.0m	日	0.84			
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ(普通型)賃料／質量 13～14ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	0.13			
K3	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(ﾏｶﾀﾞﾑ)賃料／質量 10～12ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	0.13			
K4						
K5						
労務R			10.25			
R1	普通作業員	人	3.69			
R2	運転手(特殊)	人	2.07			
R3	特殊作業員	人	2.05			
R4	土木一般世話役	人	0.73			
R5						
材料Z			88.43			
Z1	再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物／再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	80.48			
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤／PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	ℓ	7.39			
Z3	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	0.47			
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{0.84}{100} \times \text{----------} + \frac{0.13}{100} \times \text{----------} + \frac{0.13}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{1.32}{0.84+\ 0.13+\ 0.13} \right.$$

$$+ \left(\frac{3.69}{100} \times \text{----------} + \frac{2.07}{100} \times \text{----------} + \frac{2.05}{100} \times \text{----------} + \frac{0.73}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{10.25}{3.69+\ 2.07+\ 2.05+\ 0.73}$$

$$+ \left(\frac{80.48}{100} \times \text{----------} + \frac{7.39}{100} \times \text{----------} + \frac{0.47}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{88.43}{80.48+\ 7.39+\ 0.47}$$

$$\left. + \frac{100-\ 1.32-10.25-88.43}{100} \right\} =$$

C- 11号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤（車道・路肩部）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
上層路盤（車道・路肩部）	材料:再生粒度調整砕石 RM-40 全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工	㎡	1			施工P-01
計						

C- 11号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

上層路盤（車道・路肩部）　　入力数量: 100mm

材料:再生粒度調整砕石 RM-40、全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			11.39			
K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ 土工用 排対型(2014年規制)	供/日	7.88			
K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(ﾏｶﾀﾞﾑ)賃料／質量 10～12ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	0.98			
K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ(普通型)賃料／質量 13～14ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	0.96			
K4						
K5						
労務R			38.57			
R1	運転手(特殊)	人	16.98			
R2	普通作業員	人	6.21			
R3	特殊作業員	人	5.55			
R4	土木一般世話役	人	4.51			
R5						
材料Z			50.04			
Z1	再生粒度調整砕石／RM-40	㎥	46.32			
Z2	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	3.21			
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{7.88}{100} \times \text{----------} + \frac{0.98}{100} \times \text{----------} + \frac{0.96}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{11.39}{7.88 + 0.98 + 0.96} \right.$$

$$+ \left(\frac{16.98}{100} \times \text{----------} + \frac{6.21}{100} \times \text{----------} + \frac{5.55}{100} \times \text{----------} + \frac{4.51}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{38.57}{16.98 + 6.21 + 5.55 + 4.51}$$

$$+ \left(\frac{46.32}{100} \times \text{----------} + \frac{3.21}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{50.04}{46.32 + 3.21}$$

$$\left. + \frac{100 - 11.39 - 38.57 - 50.04}{100} \right\} =$$

C- 12号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:1㎜以上6㎜未満	㎡	1			施工P-01
計						

C- 12号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

不陸整正

補足材料の有無:有り、補足材料平均厚さ:1mm以上6mm未満

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			20.09			
K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ 土工用 排対型(2014年規制)	供/日	16.10			
K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(ﾏｶﾀﾞﾑ)賃料／質量 10～12ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	2.02			
K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ(普通型)賃料／質量 13～14ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	1.97			
K4						
K5						
労務R			70.57			
R1	運転手(特殊)	人	34.71			
R2	普通作業員	人	14.31			
R3	特殊作業員	人	11.17			
R4	土木一般世話役	人	10.38			
R5						
材料Z			9.34			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	6.56			
Z2	再生粒度調整砕石／RM-40	㎥	2.78			
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{16.10}{100} \times \text{----------} + \frac{2.02}{100} \times \text{----------} + \frac{1.97}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{20.09}{16.10+2.02+1.97} \right.$$

$$+ \left(\frac{34.71}{100} \times \text{----------} + \frac{14.31}{100} \times \text{----------} + \frac{11.17}{100} \times \text{----------} + \frac{10.38}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{70.57}{34.71+14.31+11.17+10.38}$$

$$+ \left(\frac{6.56}{100} \times \text{----------} + \frac{2.78}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{9.34}{6.56+2.78}$$

$$\left. + \frac{100-20.09-70.57-9.34}{100} \right\} =$$

C- 13号　　1本当たり　　単価表

視線誘導標設置工（土中建込用)撤去

両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
視線誘導標設置（土中建込用）	両面φ100以下 支柱φ34	本	1			
計						

C- 14号　　1本当たり　　単価表

視線誘導標設置工（土中建込用)設置

両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
視線誘導標設置（土中建込用）	両面φ100以下 支柱φ34	本	1			
計						

C- 15号　　1本当たり　　単価表

車線分離標設置工（穿孔式）

可変式 本体(柱)φ80 高さ800㎜

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
車線分離標設置（穿孔式)1本脚	可変式 高さ800㎜, φ80	本	1			
計						

C- 16号　　1,000ｍ当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 15cm 制約無

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線設置(溶融式) 昼間	豪雪無 実線15cm 制約無	m	1,000			
計						
１ｍ当たり						

C- 17号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白	kg	570			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	0.106～0.850mm	kg	25			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	25			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	47			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

C- 18号　　1,000ｍ当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無
実線 30cm 制約無

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線設置(溶融式) 昼間	豪雪無 実線30cm 制約無	m	1,000			
計						
１ｍ当たり						

C- 19号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 30cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白	kg	1,130			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	0.106～0.850mm	kg	50			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	50			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	72			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

C- 20号　　1,000m当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無
実線 45cm 制約無

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
区画線設置(溶融式) 昼間	豪雪無 実線45cm 制約無	m	1,000			
計						
１ｍ当たり						

C- 21号　　1,000ｍ当たり　　単価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 45cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白	kg	1,700			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	0.106～0.850㎜	kg	75			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	75			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	87			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

C- 22号　　100㎡当たり　　単価表

段差擦付工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（歩道部）		㎡	100			C- 23号単価表
舗装版破砕		㎡	100			C- 24号単価表
殻運搬		㎥	2.5			C- 25号単価表
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	㎥	2.5			
計						
１㎡当たり						

C- 23号　　1㎡当たり　　単価表

表層（歩道部）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（歩道部）	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50㎜を超え70㎜以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	㎡	1			施工P-01
	瀝青材料種類:無し					
計						

C- 23号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

表層 (歩道部)　　入力数量: 25mm

平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え70mm以下)、1層当り平均仕上り厚:実数入力

材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)、遮音材料種類:無し

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			0.36			
K1	振動ﾛｰﾗ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式	供/日	0.27			
K2	振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 前進型	供/日	0.07			
K3						
K4						
K5						
労務R			47.58			
R1	特殊作業員	人	23.22			
R2	普通作業員	人	16.64			
R3	土木一般世話役	人	5.03			
R4						
R5						
材料Z			52.06			
Z1	再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (小型車)／再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	51.92			
Z2	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	0.10			
Z3	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	0.04			
Z4						
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = & \times \left\{ \left(\frac{0.27}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.07}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{0.36}{0.27+0.07} \right. \\
& + \left(\frac{23.22}{100} \times \frac{}{} + \frac{16.64}{100} \times \frac{}{} + \frac{5.03}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{47.58}{23.22+16.64+5.03} \\
& + \left(\frac{51.92}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.10}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.04}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{52.06}{51.92+0.10+0.04} \\
& \left. + \frac{100-0.36-47.58-52.06}{100} \right\} =
\end{aligned}
$$

C- 24号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:有り 舗装版厚:4cm以下	㎡	1			施工P-01
	積込作業の有無:有り					
計						

C- 24号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

舗装版破砕

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、障害等の有無:有り、舗装版厚:4cm以下、積込作業の有無:有り

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			1.48			
K1	空気圧縮機(可搬式･ｴﾝｼﾞﾝ駆動･ｽｸﾘｭ型)賃料／吐出量3.5～3.7㎥/min(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	1.15			
K2	さく岩機 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ	供/日	0.33			
K3						
K4						
K5						
労務R			96.51			
R1	特殊作業員	人	52.65			
R2	普通作業員	人	43.86			
R3						
R4						
R5						
材料Z			2.01			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	2.01			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{1.15}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.33}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{1.48}{1.15+0.33} + \left(\frac{52.65}{100} \times \frac{}{} + \frac{43.86}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{96.51}{52.65+43.86} + \left(\frac{2.01}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{2.01}{2.01} + \frac{100-1.48-96.51-2.01}{100} \right\} =$$

C- 25号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り	㎥	1			施工P-01
	運搬距離:8.0km以下					
計						

C- 25号単価表(施工P-01)　　積算単位:m³　　標準単価:

殻運搬

殻発生作業:舗装版破砕、積込工法区分:機械積込(小規模土工)、DID区間の有無:有り、運搬距離:8.0km以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			19.09			
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	供/日	19.09			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			72.09			
R1	運転手(一般)	人	72.09			
R2						
R3						
R4						
R5						
材料Z			8.82			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	8.82			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{19.09}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{19.09}{19.09} + \left(\frac{72.09}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{72.09}{72.09} + \left(\frac{8.82}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{8.82}{8.82} + \frac{100-19.09-72.09-8.82}{100} \right\} =$$

C- 26号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ｂ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人日	11			
計						

市道９号線舗装改修工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単位	数　量	単　価	金　額	備　　考
再生粒度調整砕石	RM-40	㎥	83.819			
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型	3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白	kg	81.32			
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ	0.106～0.850㎜	kg	3.575			
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ	区画線用	kg	3.575			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	82.124			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (小型車)	再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	1.09			
ｶﾞｿﾘﾝ	ﾚｷﾞｭﾗｰ, ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	ℓ	2.581			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	ℓ	496.902			
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤	PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	ℓ	822.071			
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)	径14ｲﾝﾁ	枚	0.019			
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)	径18ｲﾝﾁ	枚	0.012			
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)	径22ｲﾝﾁ	枚	0.019			
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)	径30ｲﾝﾁ	枚	0.019			

市道９号線舗装改修工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	備　　考
材料費計						

市道９号線舗装改修工事　　材料費(37)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	備　　考
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m^3	32.45			
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層・下層)	m^3	63			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m^3	0.043			
材料費計						

市道9号線舗装改修工事　数量総括表				
種別	規格	算式	数量	単位
○取壊し工				
舗装版切断(t=5cm)	t=15cm以下	数量計算書より	5	m
舗装版切断(t=20cm)	15cmを超え30cm以下	数量計算書より	8	m
舗装版切断濁水処理工	北部地区、t=5cm	数量計算書より	1	式
舗装版切断濁水処理工	北部地区、t=20cm	数量計算書より	1	式
舗装版破砕	t=50mm	数量計算書より	590	㎡
舗装版破砕	t=200mm	数量計算書より	15	㎡
殻運搬工	DID有り,D10t,L=10.5km以下,山積0.45m3積込	数量計算書より	32	m^3
廃材処理料	北部地区、As殻	数量計算書より	32	m^3
○土工				
掘削	t=100mm ,山積0.8m3	数量計算書より	63	m^3
土砂等運搬	DID有り,D10t,L=11.0km以下	数量計算書より	63	m^3
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層･下層)	数量計算書より	63	m^3
○舗装工				
表層工(車道・路肩部)	再生密粒(13),t=50mm	数量計算書より	652	m^2
上層路盤工	RM-40,t=100mm	数量計算書より	652	m^2
不陸整正	RM-40,t=50mm	数量計算書より	15	m^2
○付帯工				
視線誘導標設置工 (土中建込用)撤去	両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ	数量計算書より	4	本
視線誘導標設置工 (土中建込用)設置	両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ	数量計算書より	4	本
車線分離標設置工 (穿孔式)	可変式 本体(柱)φ80 高さ800mm	数量計算書より	2	本
○区画線工				
区画線工　溶融式	実線15cm,手間のみ	数量計算書より	308	m
区画線工　溶融式	実線15cm,白 (材料)	数量計算書より	88	m
区画線工　溶融式	実線30cm,手間のみ	数量計算書より	7	m
区画線工　溶融式	実線30cm,白 (材料)	数量計算書より	2	m
区画線工　溶融式	実線45cm,手間のみ	数量計算書より	59	m
区画線工　溶融式	実線45cm,白 (材料)	数量計算書より	17	m
○仮設工				
段差摺り付け工	設置・撤去・運搬・処分	数量計算書による	18	m^2
交通誘導員B(昼間)		交通誘導員の算定による	11	人

市道9号線舗装改修工事　　数　量　計　算　書

工　種	計　算　式						数　量	単位
○取壊し工								
舗装版切断(t=5cm)	L				＝	5.4	5	m
(t=15cm以下)								
舗装版切断(t=20cm)	L				＝	8.5	8	m
(15cmを超え30cm以下)								
舗装版切断濁水処理工	AS版切断深さ0.05m、AS版切断延長5m						1.0	式
(北部地区,t=5cm)	分費(北部地区)V=0.006m3							
舗装版切断濁水処理工	AS版切断深さ0.20m、AS版切断延長8m						1.0	式
(北部地区,t=20cm)	運搬費（2ｔダンプ） N＝1回、分費(北部地区)V=0.037m3							
舗装版破砕(t=5cm)	A＝	CAD求積より			＝	590.0	590	m2
(舗装版厚15cm以下)								
舗装版破砕(t=20cm)	A＝	CAD求積より			＝	15.0	15	m2
(舗装版厚15cmを超え40cm以下)								
殻運搬	V＝	CAD求積より	590.0	× 0.05			32	m3
(DID有、10t車(良好) 距離10.5km以下)	＋	CAD求積より	15.0	× 0.2	＝	32.50		
廃材処理料(北部地区)	V＝	上記殻運搬より			＝	32.50	32	m3
(As殻)								

市道9号線舗装改修工事　　数　量　計　算　書

工　種	計　算　式								数　量	単位
○土工										
掘削	V＝	CAD求積より	637.0	×	0.10	＝	63.7		63	m3
t=100mm ,山積0.8m3										
土砂等運搬	V＝	CAD求積より	637.0	×	0.10	＝	63.7		63	m3
DID有, D10t,L=11.0km以下										
廃材処理料(北部地区)	V＝	CAD求積より	637.0	×	0.10	＝	63.7		63	m3
路盤材(上層･下層)										

市道9号線舗装改修工事　　数　量　計　算　書

工　種	計　算　式				数　量	単位
○舗装工						
表層工						
（車道部）t=50mm	A=	CAD求積より	＝	652.0	652	m^2
掘削						
上層路盤工						
（車道部）t=100mm	A=	CAD求積より	＝	652.0	652	m^2
RM-40						
不陸整正						
（車道部）t=50mm	A=	CAD求積より	＝	15.0	15	m^2
RM-40						

市道9号線舗装改修工事　　数　量　計　算　書

工　種	計　算　式			数　量	単位
○付帯工					
視線誘導標設置工（土中建込用)撤去					
両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ	N	＝	4.0	4	本
視線誘導標設置工（土中建込用）					
両面φ100以下 支柱径φ34,手間のみ	N	＝	4.0	4	本
車線分離標設置工（穿孔式）					
可変式 本体(柱)φ80 高さ800㎜	N	＝	2.0	2	本

1日未満で完了する作業の積算について（Ⅰ-12-①-1）

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線　W=15cm	m	88	860
実線　W=30cm	m	2	555
実線　W=45cm	m	17	460
破線　W=15cm	m		775
矢印･記号･文字	m		345
消去(削り式)	m		255

Σ(Xi/Di)＝　88 / 860 ＋ 2 / 555 ＋ 17 / 460 ＋ 0 / 775 ＋ 0 / 345
＝ 0.143 ＜ 0.50（半日）

α Σ(Xi/Di)＝　α ×（ 88 / 860 ＋ 2 / 555 ＋ 17 / 460 ＋ 0 / 775
＋ 0 / 345 ）＝ 1.00
α ＝ 6.999 ≒ 7

修正作業日当たり標準作業

実線　W=15cm　D'1 ＝ α × X1 ＝ 7 × 88 ＝ 616 m/日
（ 308 m/半日 ）

実線　W=30cm　D'2 ＝ α × X2 ＝ 7 × 2 ＝ 14 m/日
（ 7 m/半日 ）

実線　W=45cm　D'3 ＝ α × X3 ＝ 7 × 17 ＝ 119 m/日
（ 59 m/半日 ）

破線　W=15cm　D'4 ＝ α × X4 ＝ 7 × 0 ＝ 0 m/日
（ 0 m/半日 ）

矢印･記号･文字　D'5 ＝ α × X4 ＝ 7 × 0 ＝ 0 m/日
（ 0 m/半日 ）

消去(削り式)　D'6 ＝ α × X4 ＝ 7 × 0 ＝ 0 m/日
（ 0 m/半日 ）

実線　W=15cm ：　労務費は 308 m（半日分）　材料費は 88 m（設計数量）

実線　W=30cm ：　労務費は 7 m（半日分）　材料費は 2 m（設計数量）

実線　W=45cm ：　労務費は 59 m（半日分）　材料費は 17 m（設計数量）

破線　W=15cm ：　労務費は 0 m（半日分）　材料費は 0 m（設計数量）

矢印･記号･文字 ：　労務費は 0 m（半日分）　材料費は 0 m（設計数量）

市道9号
線舗装改
修工事

道路標示の文字記号等規格及び換算

（単位：m）

路線名	区画線											備考
		W15実線（白）	W15実線(黄色)	W15破線	W30実線	W30破線	W45実線	W45ゼブラ	※矢印･文字･記号（白）	※矢印･文字･記号（黄）	消去削り取り式	
市道8号線	路側線	88.7										
	停止線				2.3							
	横断歩道						17.2					
	消火栓											
	文字 T字											
計		88.7	0.0	0.0	2.3	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
		≒ 88	≒ 0	≒ 0	≒ 2	≒ 0	≒ 17	≒ 0	≒ 0	≒ 0	≒ 0	

※矢印・文字・記号については、所要材料長を計上

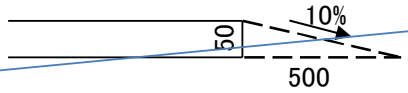
市道9号線舗装改修工事　　数　量　計　算　書

工　種	計　算　式	数　量	単位
○仮設工			
段差擦付工			
	A=　段差擦り付け集計より　＝　18.0	18	m2
交通誘導警備員Ｂ			
	N=　＝　1.0	1	現場
	（　人員合計　11　名　）		

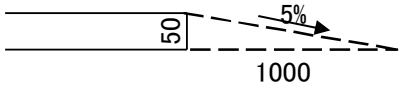
市道9号線舗装改修工事　段差擦り付け集計

1 段差摺付設置･撤去

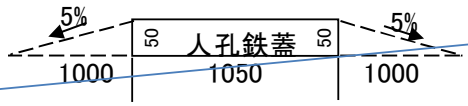
(1)横断方向 ･･･････　As摺付け



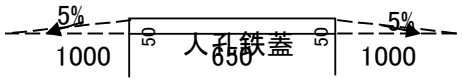
(2)縦断方向 ･･･････　As摺付け



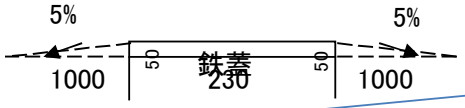
(3)人孔部分 ･･･････　As摺付け



1箇所あたり　1.525²π－0.525²π≒6.44(㎡)



1箇所あたり　1.325²π－0.325²π≒5.18(㎡)



1箇所あたり　1.115²π－0.115²π≒3.86(㎡)

	種別	延長(m)	算式A=	面積 (㎡)
①	舗装破砕時　横断方向【切削】		(0) ×0.5	0
②	舗装破砕時　縦断方向【切削】		(0) ×1.0	0
③	舗装破砕時　横断方向		(0) ×0.5	0
④	舗装破砕時　縦断方向	13.9	(8.5+5.4) ×1.0	13

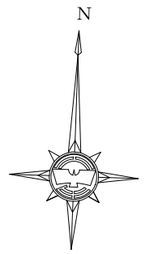
	種別	箇所	算式	面積 (㎡)
⑤	人孔部分φ 650【切削】		5.18 × 0	0
⑥	仕切弁Φ230【切削】		3.86 × 0	0
⑦	仕切弁部分φ 650	1	5.18 × 1	5
⑧	仕切弁Φ230		3.86 × 0	0

運搬・処分		
設置・撤去・運搬・処分	④+⑦	18(㎡)

平面図（1）

市道9号線舗装改修工事　　海老名市　中野三丁目　地内

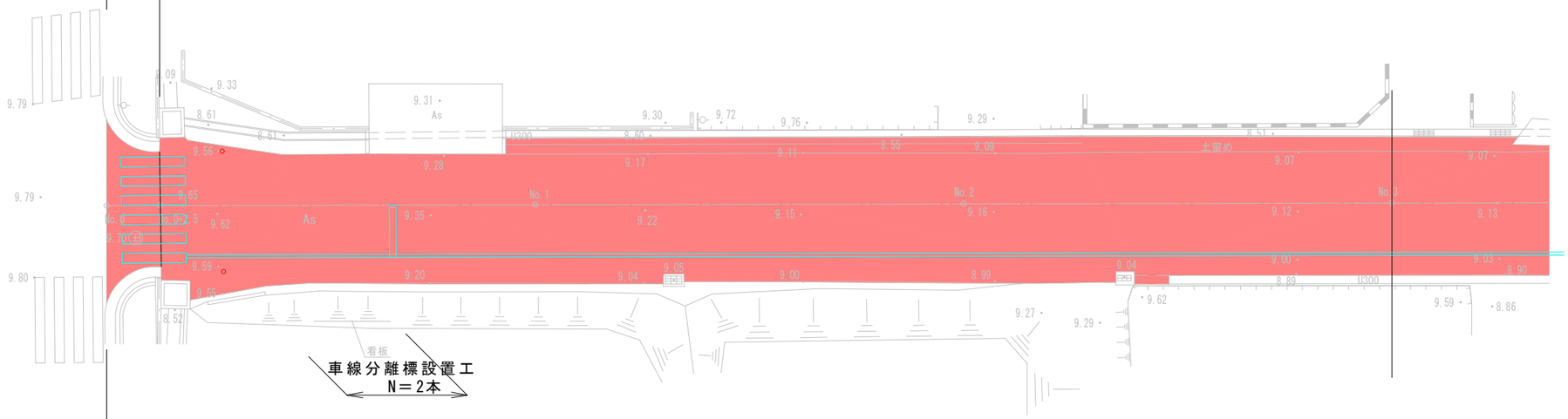
工事延長L＝101m　舗装幅員W=5.3m～8.5m



上層路盤工（RM40　t＝100mm）A=652㎡　表層工（再生密粒度t＝50mm）A=652㎡

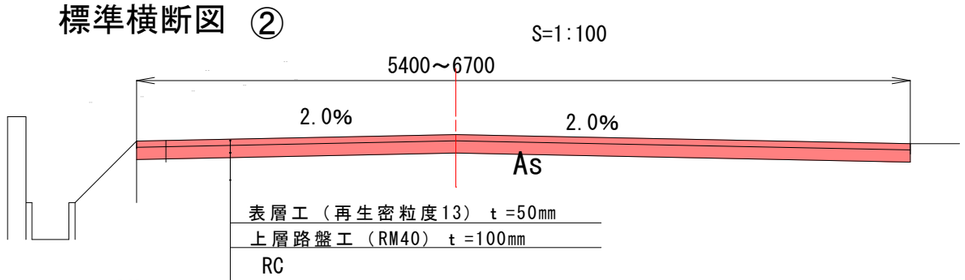
①舗装版切断工（t＝200mm）L=8m　舗装版汚泥処理（t＝200mm）N=1式　舗装版破砕工（t＝200mm）A=15㎡
　不陸整正工（t＝50mm）A=15㎡
②舗装版切断工（t＝50mm）L=5m　舗装版汚泥処理（t＝50mm）N=1式　舗装版破砕工（t＝50mm）A=590㎡　掘削V=63m^3

①　　②

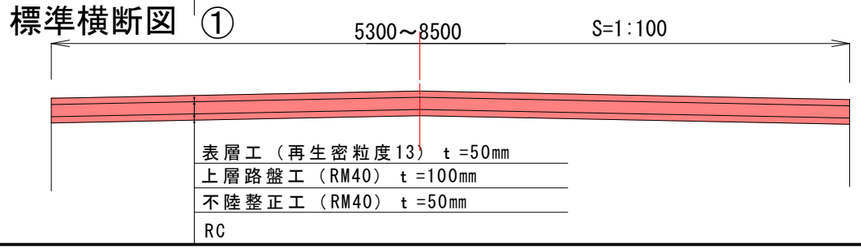


区画線1.0式（実線W15cmL＝88m、実線30cmL＝2m、実線45cmL＝17m）

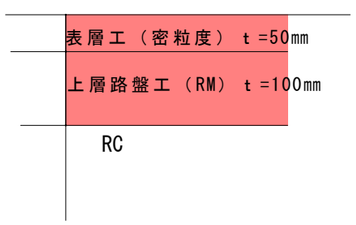
標準横断図　②



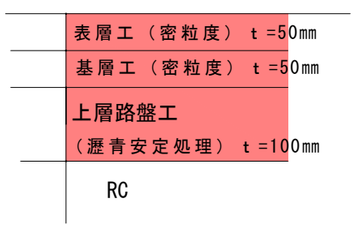
標準横断図　①



既設舗装構成 ②
（取壊し）

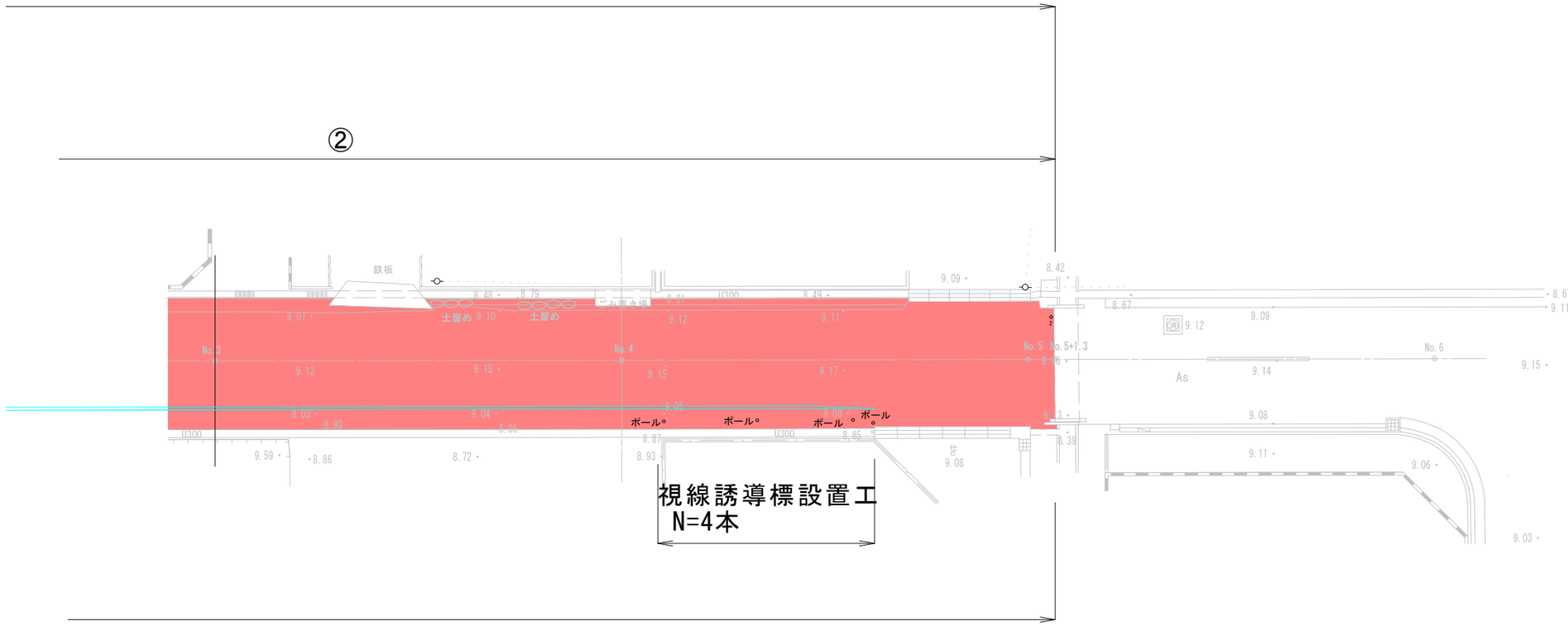


既設舗装構成 ①
（取壊し）



工事名	令和　8　年度 市道９号線舗装改修工事
工事場所	海老名市　中野三丁目　地内
図面名	平面図（1）　縮尺 1:250
図面番号	全　5　葉の内第　1　号
神奈川県海老名市役所	

N



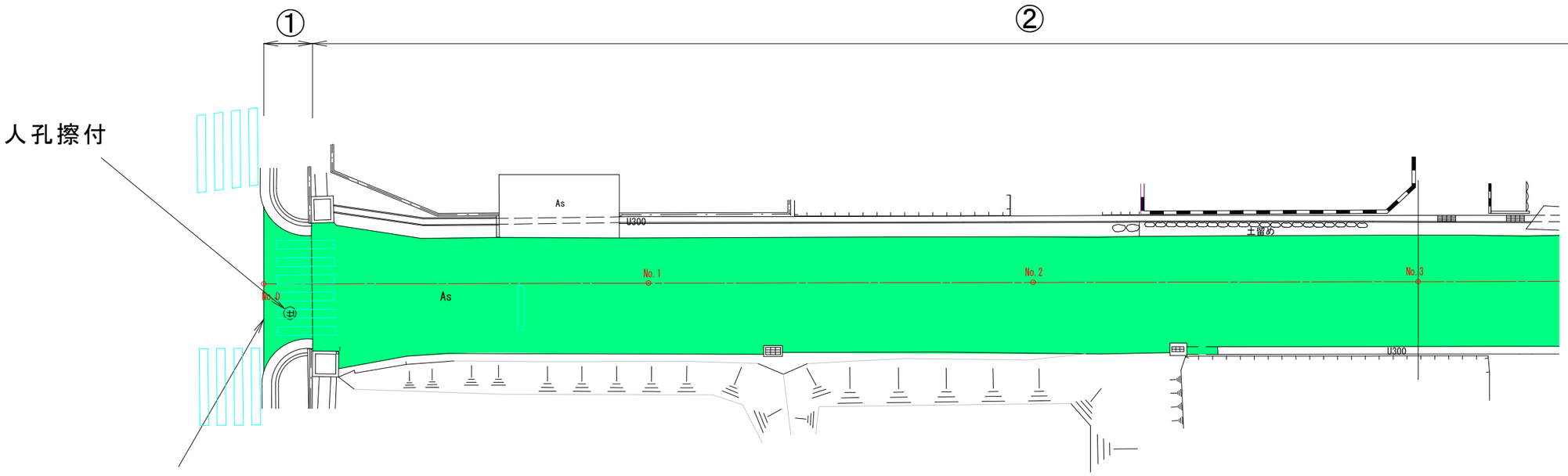
工事名	令和　8　年度 市道９号線舗装改修工事
工事場所	海老名市　中野三丁目　地内
図面名	平面図（2）　縮尺 1:250
図面番号	全　5　葉の内第　2　号
神奈川県海老名市役所	

取壊し図（1）

市道9号線舗装改修工事　　海老名市　中野三丁目　地内

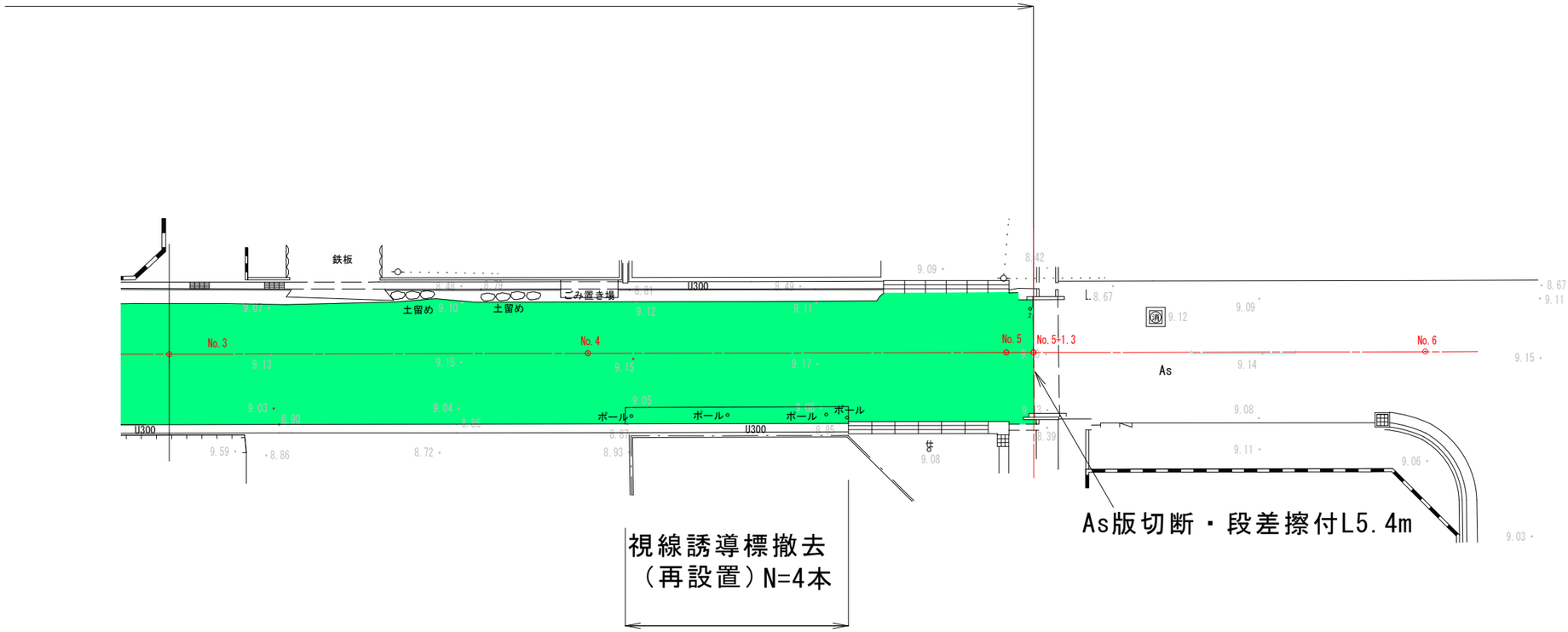
①舗装版切断工（t＝200mm）L=8m　舗装版汚泥処理（t＝200mm）N=1式　舗装版破砕工（t＝200mm）A=15㎡

②舗装版切断工（t＝50mm）L=5m　舗装版汚泥処理（t＝50mm）N=1式　舗装版破砕工（t＝50mm）A=590㎡



As版切断・段差擦付L8.5m

工事名	令和　8　年度 市道９号線舗装改修工事			
工事場所	海老名市　中野三丁目　地内			
図面名	取壊し図（1）		縮尺	1:250
図面番号	全　5　葉の内第　3　号			
神奈川県海老名市役所				

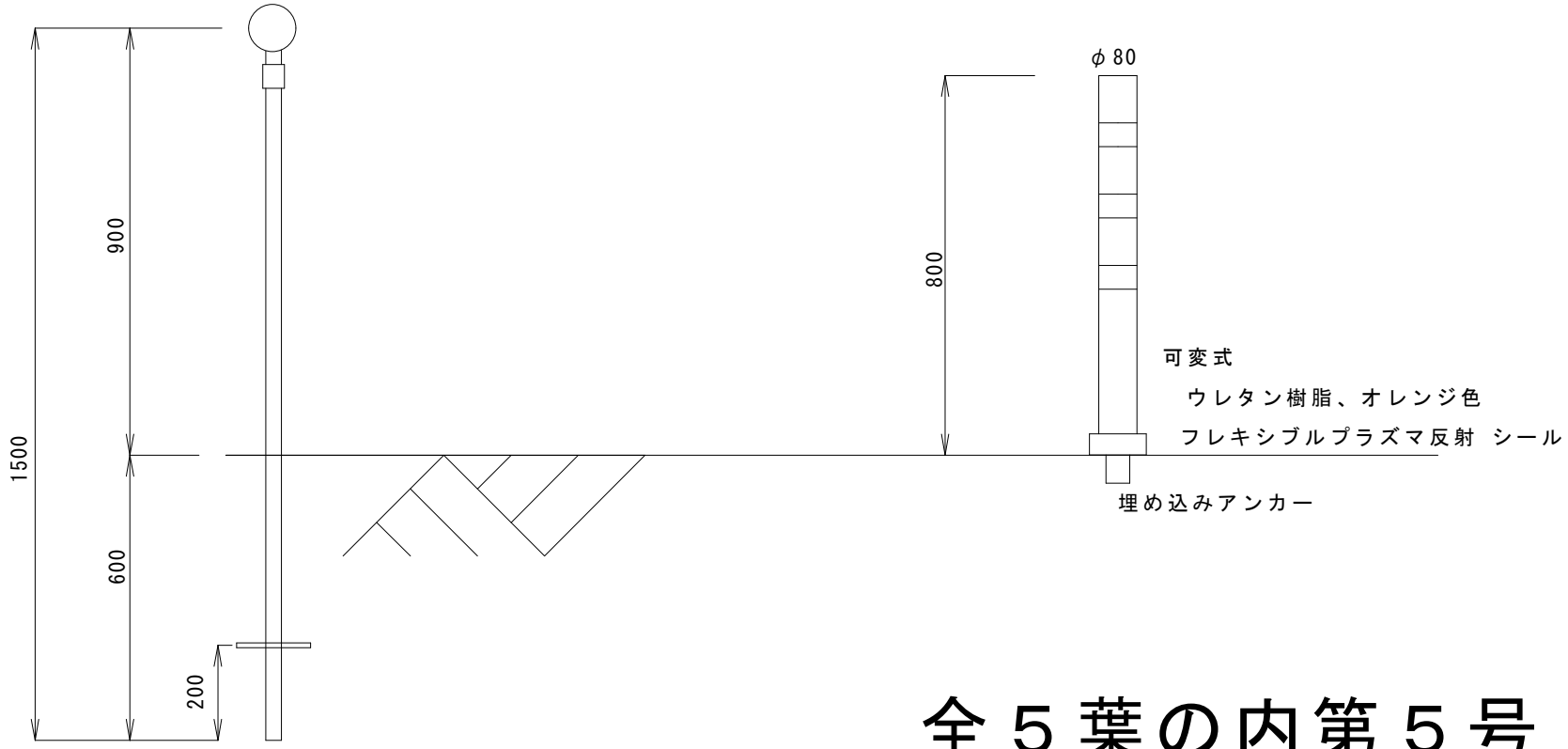


工事名	令和　8　年度 市道９号線舗装改修工事
工事場所	海老名市　中野三丁目　地内
図面名	取壊し図（２）　縮尺　1:250
図面番号	全　5　葉の内第　4　号
神奈川県海老名市役所	

構造図

既設視線誘導標撤去・設置（発生材使用）

車線分離標設置工（穿孔式）



全５葉の内第５号